

注意 (Notice)

それぞれの課題において、競技システムから添付パッケージ (attachment package) がダウンロード可能である。

すべての課題に対し：

- 添付パッケージには、採点プログラムのサンプル、実装のサンプル、テストケースの例、およびコンパイルスクリプトが含まれている。
- 各課題について 50 回までの提出を行うことができる。1 回に提出できるファイルは 1 個のみである。
- 提出すべきファイルの名前は、問題文のヘッダ部分に記述されている。問題文中で指定された関数を実装せよ。引数や戻り値の型は実装のサンプルに合わせる。
- 他の関数を実装しても構わない。
- 採点プログラムのサンプルを用いてプログラムをテストする際は、入力データは課題の問題文中で指定された形式や制約に従っている必要がある。従っていない場合の動作は規定されていない。
- 採点プログラムのサンプルの入力においては、他の形式が明示的に指定されている場合を除き、1 つの行における隣り合う 2 個の要素 (token) は 1 個の空白で区切られていなければならない。
- ソースコードを手元のコンピュータで実行する際は、添付パッケージに含まれているコンパイルスクリプトを使用することを勧める。採点プログラムはコンパイラオプション `-std=gnu++17` を用いてコンパイルを行う。もし手元のコンパイラでこのオプションが利用できない場合は、このオプションを削除または変更すること。

慣例 (Convention)

問題文においては、`void`, `int`, `int[]` (配列), `int64[]` (配列) といった一般的な名称で型を表す。

C++ においては、採点プログラム (grader) は以下のようなデータ型や実装を用いる。

<code>void</code>	<code>int</code>	<code>int[]</code>	<code>int64[]</code>	配列 <code>a</code> の長さ
<code>void</code>	<code>int</code>	<code>std::vector<int></code>	<code>std::vector<long long></code>	<code>a.size()</code>

制限 (Limits)

各課題に対する制限は、競技システムにおける "Overview" のページを見よ。